

和田土屋薬局にて、健康サポートイベント 「さぽーとCafe」を開催しました！

アイングループでは、地域に根ざした薬局として、地域の皆さまとのコミュニケーションを大事にしています。さまざまなイベントを通じて、地域の皆さまと薬のこと、健康や介護のこと等、一緒に考え、地域の健康増進へ貢献していきたいと考えております。

和田土屋薬局（長野県松本市）では、薬剤師による介護者との意見交換と勇気づけを行う「さぽーとCafe」を実施しています。

6月19日(土)に行った内容をご紹介します。

今回の話題は、「突然「ご家族は認知症です。」と言われた時、どこに相談しますか？」でした。

相談先として、ご近所のお友達、デイサービスなどを利用しているご近所の方、いつも薬をもらっている薬局、市役所福祉課、かかりつけの医師、地域包括支援センター等が挙げられ、どれも正解であることをお知らせしました。まずは「どうしよう、親が認知症と言われてしまったのです。」と声をあげ、一人で何とかしようとする・抱え込むことをしないようにお伝えしました。

この時に最も適切に、素早くいろいろな提案をしてくださり、介護認定のお手伝いもしてくれるのが、地域包括支援センターであるため、いざという時のために、自分の住んでいる地区の地域包括支援センターをチェックしておき、電話をすぐにかかけられるように準備しておくだけでも安心できることや、どんな状況でも気軽に介護の悩み、苦しみ、不安、疑問に伝えてくれるので、気軽に電話をして相談してみるようにということもお伝えしました。

参加者からは、「自分が苦しいので、相談先を作っておくのは大事だと感じています。このカフェもそうですが、話せる場所があるのは助かります。」との感想がありました。

今後も、アイングループでは地域包括ケアに貢献できるよう、努めてまいります。